

第2回日置川を考える会 議事録（概要版）

日時：平成28年8月23日（火）14:00～15:00

場所：日置川拠点公民館 1階 第5研修室



1. 開会

2. 議事内容

前回の日置川を考える会での主な意見について

3. 審議内容及び決定事項

前回の日置川を考える会での主な意見に対する回答を説明。

説明に対する委員からの主な意見・質問は以下のとおり。

〈主な意見・質問〉

- ◆ 殿山ダムが4門放流したら大や玉伝地区では道路が浸かって通れない状況がある。人が生活するうえで大変重要な位置を占めている道路を確保するために、そこに堤防を造って

いただくことは出来ないものか。(委員)

→ 意見はよく分かるが、県として他の河川整備計画と同様に家屋浸水被害の解消を第一の目標においており、道路や田畑の優先度は下げて考えている。(事務局)

◆この20年間で家屋浸水部だけを整備するのであれば、日置川全体の堤防が老朽化している中で、そのまま放っておかれるのか。または被災して災害復旧という形にしかならないのか。(委員)

→ 堤防の補修や補強については、整備計画にきっちりと位置づけ、必要に応じて実施していくことを考えている。(事務局)

◆県としては同じ目線で事業をやっていくというのは分かるが、中でも日置川が一番劣悪な状況ではないかと思っている。だから、同じ予算を投入するのではなく、他に追いつくように考えて欲しい。(委員)

→ 過去の計画では田野井地区までしか整備区間がない日置川において、他の河川に比べて今回さらに上流側に整備区間を伸ばしており、他の県内河川より進んでいるとは言わないが、ほぼ同等であると考えている。(事務局)

◆整備区間①について、河床掘削はどうかと言ったのは塩害が生じているからである。これ以上河床の砂利を採ってしまったら、もっと塩水があがるのではないか。(委員)

→ 潮位は高さだけなので、掘削してもしなくてもその高さまであがってくるため、高水敷だけ切り下げるだけであれば、大きな影響はないと考えている。(事務局)

◆自然の力は分からない。今、安居で砂利採取しているところを見れば、今までの瀬がなくなり、魚が住める状態ではなくなっている。これをよく分かって欲しい。(委員)

◆現場を見てもらえば分かるが、高速道路の工事で砂利を持っていったり戻したりしたので、大古地区の前は砂利を採るほど堆積していないと思う。(委員)

◆整備区間②の築堤については良いとしても、整備区間①の掘削については、日置川下流部の関係区長を集めて意見を聞いて欲しい。(委員)

4. 閉会